

## 松田曜子（まつだ・ようこ）

### [略歴]

2007年京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了。同防災研究所にて、地域コミュニティでの災害に対する備えに関する研究に従事。2005年よりレスキューストックヤードのインターンとして、名古屋市東山学区の「地域防災力診断シート」の作成や分析等に携わる。2007年より同事務局／震災がつなぐ全国ワーク事務局スタッフ、2009年より事務局局長。能登半島地震・新潟県中越沖地震の被災地支援、および石川県穴水町の商店街復興事業に携わる。また地域での災害対策を中心に活動を行っている。博士（工学）。



### [被災地支援活動]

- ・ 愛知県 8 月末豪雨（2008 年）／なごや災害ボランティア連絡会の一員として 1 週間、被災地支援活動。
- ・ 能登半島地震（2007 年）／5 月、延べ約 10 日間にわたり穴水町災害ボランティアセンターでの活動。仮設住宅の引越し準備、訪問活動など。6 月～現在、穴水町商店街の復興支援活動（月 1 回程度の訪問）。
- ・ 新潟県中越沖地震（2007 年）／7～8 月、延べ約 30 日間にわたり刈羽村災害ボランティアセンターで活動。避難所班として避難所の見守り活動。うるうるパック等の配布。のちに仮設住宅への引越し支援等。10 月、せともの市開催。
- ・ 宮城・岩手内陸地震（2008 年）／7 月、栗駒耕英地区での交流会支援

### [委員等委嘱]

- ・ 関西学院大学災害復興制度研究所非常勤研究員（2010 年度～）
- ・ 土木学会誌編集委員（2008 年 5 月～2010 年 5 月）
- ・ 新丸山ダム洪水リスクの社会的認知向上方策に関する研究会委員（2009 年度）

[寄稿等 (主な近著)]

災害に備え、災害時に生かせる市民・公益活動団体の連携手法に関する検討，平成 21 年度名古屋都市センター特別研究報告書，2010。（近日掲載）

<http://www.nui.or.jp/kenkyu/21/index.html>

災害 NPO の立場から、「洪水ハザードマップ等の現状・課題に関する調査研究」報告書，日本損害保険協会，2010.

[http://www.sonpo.or.jp/news/release/2010/1004\\_01.html](http://www.sonpo.or.jp/news/release/2010/1004_01.html)

復興の可視化「クロス」に刻まれた記憶，復興デザイン研究，第 7 号，日本災害学会復興デザイン研究会，2008. [http://snow.nagaokaut.ac.jp/fukkou\\_design/](http://snow.nagaokaut.ac.jp/fukkou_design/)

頑張れ能登 ボランティアの便り 1 見て感じた被災地（取材），中日新聞 2008 年 3 月 13 日付.

<http://www.chunichi.co.jp/article/ishikawa/toku/genba/CK2008031302095009.html>

地域防災における事業所の役割，自主防災，201 号，財団法人東京防災指導協会，2008.

[学位論文]

低頻度大規模災害に備えることを目的としたリスクコミュニケーション手法に関する研究（博士（工学），2007 年 3 月，京都大学大学院工学研究科）

[査読付論文]

Bajek, R., Matsuda, Y. and Okada, N.: Japan's Jishu-bosai-soshiki community activities: Analysis of its role in participatory community disaster risk management, *Natural Hazards*, Vol.44, No.2, pp.163-168, 2008.

松田曜子，岡田憲夫：複数主体が参加する地域防災の場における「地域防災力診断シート」の尺度構成と活用，安全問題討論会'06 論文集，Vol.1, pp.31-36, 2006.

Matsuda, Y. and Okada, N.: Community Diagnosis for sustainable disaster preparedness, *Journal of Natural Disaster Science*, Vol.28, pp.25-33, 2006.

松田曜子，岡田憲夫：災害の間接的経験と家庭での地震の備えの関連性分析，土木計画学研究・論文集，Vol.23, No.2, pp.243-252, 2006.